

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

課題名	ST 上昇型心筋梗塞に対するプライマリー経皮的冠動脈インターベンション施行患者における病院前心電図伝送の臨床的有効性の検討。郊外の単一施設における観察研究
受付番号	1025
当院の研究責任者（所属）	小橋啓一（循環器内科）
研究者等（所属）	一色高明、緒方信彦、増田尚己、谷本周三、中野将孝、佐々木俊輔、林健太郎、前野吉夫、新谷嘉章、齋藤智久、北村健、鍵山弘太郎、小國哲也、宮下耕太郎、太田真之、中井大介、浅野峻見（循環器内科）
研究期間	2022年5月27日～2022年10月31日
調査データ対象期間	2017年4月1日～2021年6月30日
本研究の目的	ST 上昇型心筋梗塞（STEMI）患者は、病院到着から経皮的冠動脈インターベンションにより冠動脈再灌流が得られるまでの時間である Door to balloon time（D2BT）が短縮するほど、院内死亡率・6ヵ月死亡率が改善することが報告されている。本邦の報告で病院前12誘導心電図伝送（PH-ECG）にてD2BTが短縮することが報告されているが、30日間死亡率に対する有効性を検討した報告は少ないため、この点について検討する。
対象となる患者さん	調査データ対象期間にSTEMIに対してプライマリー経皮的冠動脈インターベンション（PCI）を施行した患者さん
利用する試料・情報	年齢、性別、身長、体重、既往歴、喫煙歴、血中脂質、腎機能、血糖値、HbA1c、搬送距離・搬送時間・時間外搬送の有無、心筋梗塞重症度、責任病変・病変数、PCIの治療内容・補助デバイス、30日死亡率（総死亡・心臓死）、PCIの時間経過と再灌流遅延、心筋逸脱酵素の上昇、経胸壁心臓超音波検査による左室駆出率など
試料・情報の他の研究機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
個人情報の保護に関する情報	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。研究成果は学会や学術誌等で発表する可能性があります。その際は患者さんを特定できない形で行います。
本研究の資金源（利益相反）	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
倫理審査等の経過	第247回上尾中央総合病院倫理委員会にて承認
公開日	2022年6月3日
オプトアウト期間	<input checked="" type="checkbox"/> 公開日から1か月

	<input type="checkbox"/> 当該疾患の当院受診日から1か月
お問合せ先	電話番号 048-773-1111 (代表) 上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター 情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科